

第 7 4 回小金井市市民参加推進会議

日 時 令和 8 年 1 月 2 7 日（火）午後 6 時 0 0 分～午後 7 時 1 5 分

場 所 小金井市役所本庁舎 3 階第 1 会議室

出席委員 1 1 人

委員長 繁 田 進 委員

副委員長 金 尾 悠 香 委員

委 員 安 島 裕 大 委員 橋 田 壤 志 委員

百 瀬 海 委員 山 下 佳 穂 委員

山 田 由加里 委員 小早川 良 信 委員

佐 藤 康 博 委員 田 中 肇 委員

梅 原 啓太郎 委員

欠席委員 1 人

鈴 木 功 委員

事務局職員

企画政策課長 廣 田 豊 之

企画政策課係長 前 坂 悟 史

企画政策課主任 兼 堀 義 信

傍 聴 者 1 人

（午後 6 時 0 0 分開会）

◎繁田委員長 皆さん、こんばんは。それでは、第 7 4 回市民参加推進会議を開催いたします。

本日は鈴木委員より欠席の連絡が入っております。定足数につきましては、市民参加条例施行規則第 2 4 条に、半数をもって成立することになっております。1 2 人中 1 1 名御出席をいただいておりますので、本推進会議は成立しているということで御報告申し上げます。

それでは、配付資料に基づいて事務局より確認をお願いいたします。

◎事務局 今回の資料は、本日机上に配付させていただいております。順番に確認させていただきたいと思います。

まず、本日の次第がございまして、資料が 3 点ございます。資料 1 としまして、主な市への意見の出し方について。資料 2 としましては、市ホームページ・主な SNS についてです。資

料3としましては、市民参加が広がるような主なアイデアのまとめとなっております。それから、参考資料として7点ございます。参考資料1としまして、令和5年度「市民の声」のまとめとなっております。参考資料2としまして、第37回みんなのタウンミーティングチラシになります。参考資料3としまして、令和7年度市長への手紙の抜粋となります。参考資料4としまして、第5次小金井市基本構想・後期基本計画（素案）に対する意見募集の募集要項となっております。参考資料5としまして、第5次小金井市基本構想・後期基本計画（素案）に対する意見及び検討結果についての概要になります。参考資料6としまして、意見募集プラットフォーム（Decidim）の活用結果となっております。最後、参考資料7としまして、「くるカメくん」公式Instagram開設チラシとなっております。

もし不足しているものがございましたら、お申出ください。

以上になります。

◎繁田委員長 よろしいでしょうか。

それでは本題に入ります。次第1、「今期の提言に向けて」を議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

◎事務局 本日ににつきましては、前回の続きの議論をしていただければと思いますが、議論に先立ちまして、前回の会議で委員の皆さんから市民参加が広がるアイデアをいただきました。市への意見の出し方や市のホームページ・SNSについてきちんとお伝えできておりませんでしたので、まとめさせていただきました。説明させていただきたいと思います。

まず、資料1、市への意見の出し方のまとめを御覧いただきたいと思います。

市全体の意見の窓口といたしましては、上から3つ目までございます。1つ目が市長へのeメール、2つ目が市長へのファックス、3つ目が要望・意見カードでございます。これらは市長への御意見、御要望を直接いただくものでございまして、1つ目がメールで頂くもの、2つ目がファックスで頂くもの、3つ目につきましては、市役所にある投書箱に紙で入れていただくものとなっております。

これら3つにつきましては、「市民の声」として担当部署に共有し、担当部署から検討結果や対応の結果などを必要に応じて文書で回答しているものになります。

詳細につきましては、参考資料1として、令和5年度「市民の声」のまとめを配付しておりますので、御覧いただければと思います。1年間の市長へのeメール、ファックス、要望・意見カードの状況をまとめたものとなっております。

続きまして、資料1の4番目、「みんなのタウンミーティング」というものがございます。こちらは、月に1回、市長が市民の皆さんの市政に対する率直な御意見、御提案を直接伺い、市政に反映させていくことを目的に開催しております。

内容としましては、初めに市政のトピックスを説明し、その後、市民の皆様と市長でフリートークを行っております。参考資料2としましては、直近に開催されたチラシを配付しておりますので、御覧いただければと思います。

みんなのタウンミーティングの開催会場につきましては、市の公共施設で開催することが多いですが、来場が難しい市民の方もいらっしゃいますので、オンラインで開催する場合もございます。

また、資料1に戻りまして、その下の5番目、市長への手紙でございます。これは、年1回、無作為に抽出した市民の方2,000人を対象としたアンケート調査を定期的に行っているところでございます。参考資料3として配付している、令和7年度市長への手紙は、直近の結果となります。御参考に配付させていただきましたので、後ほど御参照いただきたいと思います。

資料1に戻りまして、表の中の6番目、パブリックコメントにつきましては、以前の市民参加推進会議でも市民参加条例における市民の提言制度に基づき実施している旨を説明したところでございます。今年度、企画政策課で策定を進めています、市の最上位計画でございます「第5次基本構想・後期基本計画」においてパブリックコメントを実施しましたので、その際の資料を一部抜粋しており、参考資料としてお配りしております。そちらが参考資料4になります。

こちら、パブリックコメントを実施した際の募集要項となっております。実際には、この募集要項のほかに、計画案とファックス用の書式をセットにし、市ホームページへの掲載のほか、配布場所に記載のある公共施設にて配布しております。

また、パブリックコメントの結果につきましては、参考資料5でお配りしておりますが、提出状況や意見の内容などをまとめ、市ホームページや公共施設にて周知をしております。

資料1に戻りまして、表の7番と8番ですが、計画や主要な施策を進める際には、市民意向調査や市民アンケートなどのアンケート調査、市民説明会やワークショップ等を行うなどして、必要に応じて市民の皆さんから御意見を聞く機会を設けさせていただいております。

また、資料には記載しておりませんが、オンライン上にて意見交換を行うプラットフォーム「Decidim」について御紹介したいと思います。参考資料6を御覧いただければと思います。

こちらにつきましては、企画政策課において策定を進めています「第5次基本構想・後期基本計画」の内容について、市民参加の新たな取組として試行的に実施いたしました。Decidimとは、2016年にスペインで誕生した参加型合意形成プラットフォームでございます。近年、日本の自治体でも活用が進んでおります。パブリックコメントと近いものとなっておりますが、異なる点としましては、匿名で投稿できる点や、投稿された意見に対してアクションやフィードバックを行えるという点があり、市民同士でも議論を重ねることができるものとなっております。

今回実施した結果といたしましては、4件の投稿がありましたが、残念ながら意見が重なって、議論になるところまでは至りませんでした。

資料のとおり、様々な御意見をいただける方法は御用意しておりますが、なかなかそれを市民の方に伝えられていない、または、意見が出しやすいものではないと思っております。

続きまして、資料2に移ります。こちらが、市ホームページ・SNSの状況についてでございます。資料2を御覧ください。

後ほど説明いたしますが、前回の会議でいただいたアイデアの中に、SNSについて多くのアイデアをいただきました。そのため、現在の状況を資料にまとめてみましたので御説明させていただきます。

1番上の、ホームページにつきましては、開かれた情報通信基盤であるインターネットを利用しまして、市勢、行政の情報提供を目的として、平成12年10月に開設されたものでございます。

なお、市ホームページは現在リニューアル作業を進めておりまして、間もなく新しいデザインでの市ホームページが公開となる予定でございます。1月28日からですので、間もなく公開される予定として進んでいると聞いております。

2番目と3番目につきましては、Xでございます。市政情報全般について発信している市公式のアカウントのほか、各課に割り振られたアカウントがございますので、分野によって担当課から情報の発信をしております。

4番目は、ユーチューブとなります。こちらは、市で作成した動画等の配信がメインとなります。

5番目は、LINEとなります。こちらはお友達登録をされている方への配信となりますが、市から情報を受け取れるほか、チャットボット機能がありますので、簡単な質問について、市ホームページ上の情報を基に自動で回答するような機能もございます。

最後の6番目は、インスタグラムとなりますが、こちらは市で統一したアカウントではなく、各課で所管している事業において作成しているところがございます。一例といたしまして、参考資料7にもございますとおり、市のごみ減量キャラクター「くるカメくん」のアカウントを開設しております。ごみの出し方のポイントやイベントの周知などを行っております。

御質問等ございましたらお伺いさせていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

◎繁田委員長 ありがとうございます。事務局から説明がありましたが、今の説明につきまして御意見、御質問等がございましたらお願いいたします。では、続けて事務局から説明をお願いします。

◎事務局 それでは、前回の市民参加推進会議から時間が経過してしまったため、簡単に振り返りを行っていききたいと思います。

前回の市民参加推進会議では、市民参加条例運用状況等について委員の皆さんに確認をしていただいた後、今期のテーマを「市民参加の裾野を拡大させる具体的な方策について」に決定しました。その後、簡易なワークショップを行いました。ワークショップのテーマとしましては「市民参加が広がるようなアイデア」とし、A3のワークシートを使用しまして、3段階でワークを行いました。まず、ステップ1といたしまして、個人でアイデアをワークシートに記入していただきました。ステップ2といたしまして、2人1組でそれぞれのアイデアについて意見交換を行いました。ステップ3といたしまして、自分のアイデアなど全体発表を行いました。また、印象に残ったアイデアにつきましては、ワークシートに記入していただいたところ

でございます。

以上が前回の市民参加推進会議の流れでございます。

ワークショップでは、委員の皆さんから数多くの市民参加が広がるようなアイデアを頂戴しましたので、資料3のとおりまとめさせていただきました。表の中の主なアイデアにつきましては、前回のワークショップで出た委員の皆さんからいただいたアイデアを記載しております。アイデアを基に、「情報発信」や「若者」など、項目を整理する目的で入れさせていただいております。一番右の（参考）注目度につきましては、前回のワークショップにて印象に残ったものをワークシートに記入していただきましたが、記入があったものを○、特に多かったものを◎として記載しております。

いただいたアイデアにつきましては、時間にも限りがございますのである程度絞り込みを行いたいと思っております。

なお、アイデアをこの場で決定するのではなく、委員の皆さんから御意見をいただき、事務局でも精査しまして、次回の市民参加推進会議で具体的な提案ができればと考えております。

以上です。

◎繁田委員長 ありがとうございます。事務局から説明がありましたが、本日は、アイデアの中から絞り込みを行うための議論ができればと思います。前回、多くのアイデアが出ておりますので、改めて資料を見返しながら御自由に御発言をしていただければと思います。

田中委員、お願いします。

◎田中委員 22番の「まちの課題カフェ」に注目度に○がついていますが、具体的に何かテーマを決めて、住民の方に集まっていただき話合いの場をつくるイメージですか？

◎繁田委員長 そんな感じだと思います。

◎百瀬委員 まちのカフェでやる場合、年齢関係なく様々な方との交流になると思います。また、市役所ですと行きづらい層もいると思うので良いと思いました。

◎田中委員 その課題は、その場で生み出すのか、あるいはテーマを決めてやるのかどのようなイメージですか？そこでテーマが出る場合、あまり関わりない方がそこにも話し合いが難しいと思います。

◎繁田委員長 いかがですか。

◎百瀬委員 テーマはその場で決める形でよろしいと思います。テーマを先に決めてしまうと、そのテーマに興味のない方が来なくなる恐れがあります。もし、テーマを先に決める場合は、テーマ選びが重要になると思います。

◎繁田委員長 フリーテーマというような形ですね。

◎田中委員 そうですね、テーマはその場で集まった方々で出していただく方法が良いと思います。行政が実施しているため、実態にそぐわないような形になった場合は困惑してしまいます。行政職員が間に入りアドバイスをしながらやっていくのか、あるいは、最後に担当部署で引き受けてしまうのか、どちらが良いか迷いました。

◎繁田委員長 ありがとうございます。

◎百瀬委員 行政職員がファシリテーターとして入っていただければ、実りのある議論になると思います。

◎繁田委員長 イメージといたしましては、皆さんが集まって市に関する話を話し合う場が存在するということですね。そのような場はありますか？

◎事務局 恐らく、みんなのタウンミーティングに近い形であると思います。会場が市の公共施設を使用していますが、新しくできたごみ処理施設でもあるサステナブルパークで開催する等、工夫を凝らしながらやっているところではございます。

◎繁田委員長 この２２番の「まちの課題カフェ」について、御意見がある方はいますか。

◎橋田委員 人が集まるところに適した題材で行うことにより、効率よく話が聞けるのではないかと思います。

◎繁田委員長 山下委員、どうですか。

◎山下委員 「まちの課題カフェ」は少し硬い気がしますので、「ママ友カフェ」はいかがでしょうか。

◎繁田委員長 「ママ友カフェ」ですね。

◎山田委員 名前が硬いという意見は皆さまがおっしゃっていますが、「まちの課題カフェ」ではどのようなことをやっているのかを知ることにより、お越しになる方も増えるのではないかと思います。

◎繁田委員長 なるほどですね。佐藤委員、いかがでしょうか。

◎佐藤委員 まちの課題を抽出することが目的ですか？それとも、課題をみんなで解決していくことに主眼がありますか？

◎事務局 はっきりした定義はありませんが、市の抱えている課題としましては、例えば市の施策を決めるにあたり多くの市民の方の御意見が欲しいところがあります。ただ、どうしても限られた方からの意見となり、サイレント層等の意見をなかなか出していただけないような人たちにどのようにアプローチできるかが課題になります。試行錯誤をしながら、様々な方の意見を市政に反映させたいということが大きな目的だと考えます。

◎佐藤委員 年齢層としましては、若い人の意見を聞きたいのではないのかと思います。

この主眼とは、カフェに来るような若い人たち、喫茶店ではなくカフェに来るような方々の意見を吸い上げようとしている理解でよろしいですか？

◎繁田委員長 前回の市民参加推進会議は、「若者の声を拾おう」がテーマでしたが、今回は幅広い層でもあるので若者に特化したわけではないです。

◎佐藤委員 カフェに行かれる層は一定数いると思います。しかし、課題を解決する為のチャンネルを設定することは有効だと思いますが、普段声を上げない層の意見というのは吸い上げることが難しいと思います。

◎繁田委員長 その通りだと思います。

◎佐藤委員 意見を言わざるを得ない環境であれば、意見が出てくるかもしれません。

◎繁田委員長 来てもらうことが大変ですね。

◎安島委員 話を戻してしまいましたが、「まちの課題カフェ」は、地域の方々から生まれてくる課題なのか、行政職員が検討している課題の出し方なのか、どちらですか？

◎繁田委員長 どちらもだと思います。

大学との連携で、ガクチカボランティアはどなたの意見ですか？

◎安島委員 私かもしれないです。国分寺市に住んでいた時があり、東経大と国分寺市の繋がりと感じていました。東経大にはボランティアサークルが存在します。ボランティアに参加することにより、就職の役に立つみたいです。そこはすごくいい仕組みであると感じました。

◎事務局 まずはボランティアやまちづくりに携わってもらう入り口作りが重要であると思いました。

◎金尾副委員長 産官学連携の視点で考えますと、小中高を通じて保護者の方にアプローチすることが良いと思いました。また、「まちの課題カフェ」についてですが、営業しているカフェに連携していただき、市民の方にアプローチできるかなと思っていました。

◎安島委員 企業の協力という視点ですと、企業側としてもサービス改善や何かインサイトのきっかけになると思います。

◎繁田委員長 少なからず、課題を抱えて過ごされていると思いますのでカフェで課題が解決されるのは良いことだと思います。

◎安島委員 ただ、参加する人は限定された人になるかもしれませんが、参加の手法としての幅は広がると思います。

◎繁田委員長 なるほどですね。小金井市にはFMありますか？

◎事務局 FMはないです。

◎安島委員 ラジオの利用ですか？

◎繁田委員長 はい。様々な問題をラジオにて発信し、カフェを開催しますとアナウンスすることです。

◎安島委員 ラジオ市報にすると面白いと思います。ラジオに市報の内容を入れることにより、たまに聞きたくなると思います。

◎小早川委員 社会福祉協議会にて、「ふれあい・いきいきサロン」というものがあります。現在、50以上の団体が登録しています。社会福祉協議会が居場所代として助成金を出し、公民館や個人宅にて話をしています。きっかけは、私がボランティアセンターにいた際、ある中学校の母親が自分の子供が受験科目の問題用紙が読めないという理由から、隣で読んでくれるボランティアはいませんかと尋ねてきました。初めは戸惑ったのですが、「ディスレクシア」という学習障害の一部でした。社会福祉協議会の方でその中学校及び受験する高校に対して、このような理由で対応できないと伝えたケースがありました。それをきっかけに、大勢の母親

がそのような方に対しての居場所作りについて賛同することがありました。

◎繁田委員長 近くにそのような居場所があればいいですね。他の意見はありますか？

先程、親御さんにアプローチする意見が挙がりましたが、その層に対して居場所を作ってあげると良いと思いました。他にはどうでしょうか。

◎梅原委員 この資料の12番以降、学生や大学関連のアイデアが幾つか出ていますが、市民参加として関わっていただきたい話はこれまでもあったかと思います。次回以降でこの辺を掘り下げて様々な意見をいただけるといいかなと思いました。

◎金尾副委員長 お伺いしたいことが1点ありますが、よろしいですか。

◎繁田委員長 どうぞ。

◎金尾副委員長 31番のインセンティブのところですが、小早川委員の「ふれあい・いきいきサロン」の運営方法を応用させますと、登録していただいた団体に対して、市に要望があるのであれば、助成金と引換えにレポートを提出していただくと良いと思いました。

報酬や何らかの財物等の様々な形があると思いますが、市として何か決められている規約やお約束事があると思います。その辺りを知識として御教示いただけると大変ありがたいです。

◎事務局 どこまで正確なことをお答えできるか分かりませんが、助成金や補助金は市の事業としてやっており、もともとの団体さんの活動に対してお金を出して補助する事業、事業に対して補助を出すことがあります。何に対してどのような形でお金を出すのかを整理できれば、制度として様々なものがあると思います。

◎金尾副委員長 例えば、前期では「若者MIRAIトーク」を実施した際に、謝礼を若者に対してお渡ししていました。市民参加を推進するために恒常的に予算化することなど、その辺も含めて御検討いただけるとありがたいです。

◎繁田委員長 昨年は、クオカードですか？図書券ですか？

◎事務局 図書カードです。

現在、インセンティブのお話が出てきた中で、佐藤委員がおっしゃったように、施設を利用できる特典もインセンティブとして考えられます。そして、学生のガクチカやボランティア活動が就職活動に使えることも参加者にとってはメリットがあると思います。そのため、金銭の面はハードルになることもありますが、参加者にとってはメリットがないと参加しづらいところもあると思うので、アイデアなど思いつくこととかあれば教えていただけるとありがたいです。

◎安島委員 よく商工会や商店会にて、割引券があると思います。地域の活動に参加することにより、割引券が貰える仕組みを作ることによって地域にお金が回るようになると思いました。

◎繁田委員長 学生はやはりお金ですかね。そのような方法も一つのアイデアですね。

◎事務局 先程、商工会のお話が出ましたので御紹介したいものがございます。小金井市には「活き生きボラポ」という制度がございまして、ボランティアしてポイントがもらえるものです。インセンティブですが、地域の商店で使える「さくら」ポイントカードというのがあります。

す。所管は介護福祉課であります。御紹介させていただきました。

◎繁田委員長 「さくら」ポイントはどこで使えますか？

◎事務局 「さくら」ポイントカードを使える店舗は決まっております、地域の商店がメインになります。

◎山田委員 使えるところが、武蔵小金井寄りに偏っています。

◎事務局 そうですね。地域に偏りがあるのは聞いております。

◎繁田委員長 小金井市民全員が認知しておりますと風通しが良くなるかもしれないです。ほかに御意見ありますか。

◎安島委員 意見ではなく、質問です。先程、商工会と市の横のつながりで、社協と市の連携はどうなのかと思いました。地域サロンに社協の地域コーディネーターがいらっしゃると思います。その方々はサロンに参加して知識を持っていますが、どれほどこのような企画に携わっているのか気になりました。

◎小早川委員 社協では月1回、市との打合せがあります。地域福祉課の委託事業になっていきますので、地域福祉課には報告しています。ですが、地域福祉課が抱えている情報のみであり、こちらには流れて来ません。

◎繁田委員長 他にはいかがでしょうか。SNS関係についてはまだ意見が出てきませんが、事務局から何かありますか？

◎事務局 本日、委員の皆様からたくさん御意見いただきましたので、これを参考に次回までに具体的な方策を幾つか御提案できればと思っております。いろいろ御意見いただきましてありがとうございます。

◎繁田委員長 では、以上で、次第1、「今期の提言に向けて」については終了としたいと思います。

それでは、次第2の、「その他について」を事務局、お願いします。

◎事務局 次回の日程についてですが、今回が1月の開催となりましたので、次回は3月頃の開催を検討しております。詳しい日程につきましては、また改めてメールにて日程調整の御連絡を送らせていただきますのでよろしくお願いいたします。

◎繁田委員長 それでは、また別途事務局から調整があるということですので、皆さん、よろしくをお願いいたします。

そのほか、何かある方はいらっしゃいますか。

それでは、これをもちまして第74回市民参加推進会議を終わりたいと思います。ありがとうございました。

(午後7時15分閉会)